岩盤ボーリング柱状図

調査名	二級河川　瀬野川水系　山王北川外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	No.5(山王北川)	調査位置	広島県広島市安芸区　中野東	北緯	34° 23' 37.5562"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 7月31日～ 令和3年 8月 2日	東経	132° 34' 47.9586"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 99.44m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 90°東 180°南 270°西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機D-0型 / エンジン：ヤンマーディゼルNFD13-EK / ポンプ：東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事
	99.14	0.30		粘土質砂	茶								崩積土。細粒分を少量～多く混入する。砂は角ばった細砂主体。
1	97.74	1.70		風化花崗岩	茶灰	w4	h1	D	V	d	DH	0[5](100)	角礫状～短柱状コアとなる。ハンマーで角礫状～片状に容易に砕ける。割れ目は水平～20°のものが数cm間隔で入り、軟質化する。
					灰	w3		C	Ⅲ	c	CL	25[25](100)	
2				花崗岩		w2		B	Ⅱ	b	CM		角礫状～長柱状コアとなる。
						w3		C	Ⅲ	c	CL	14[36](100)	
3					青灰	w2		B	Ⅱ	b	CM	20[40](100)	角礫状～短柱状コア部はハンマー打撃で角礫状～片状に容易に砕ける。
4					灰	w3		C	Ⅳ	c	CL	13[13](100)	長柱状コア部はハンマーの強打で割れる程度である。
5						w2		B	Ⅱ	b	CM	18[44](100)	割れ目は水平～20°のものが数cm～10cm間隔で入る。
6					灰～乳灰	w3		C	Ⅲ	c	CL	9[0](100)	GL-4.3～4.5mは割れ目が判別できない角礫状～砂質土状を示す。
7												8[0](100)	長柱状部の割れ目は水平,45°のものが10～20cm間隔で入る。
8	91.44	8.00											
9													
10													
11													
12													
13													

孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験
8/3 3.00		50以上	1.05 / 1.10	50 / 50	50			
		50以上	2.00 / 2.03	50 / 30	30			
		50以上	3.00 / 3.01	50 / 10	10			

削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
7/31	600	66	HW/DI	0	0	0	W30	0
	80							
	98			1	180	0	W38	8
	117							
	132					0	W38	8～0
	147			2	180	0	W38	0
8/2	133							